第6号

聖天山周辺地区 景観まちづくり ニュース

平成２７年１２月

回　覧

平成２７年度第1回ワークショップを開催しました！

今年度は景観まちづくりプランの実現策の一つ「花とみどりでおもてなしの空間づくり」をメインテーマに「自分たちでできること」や「担い手の拡大」などに取組みます。

第一回目として、12月5日(土)午後、妻沼勤労福祉会館及び坂田医院旧診療所にてＮＨＫ趣味の園芸でおなじみの園芸家玉崎弘志先生をお迎えしてワークショップを開催しました。





土留めにインターロッキングブロックを活用



「お･も･て･な･し」の気持ちが伝わりますね。

当日は天候に恵まれ、室内で主旨説明の後、玉崎先生のご指導のもと、４班に分かれて坂田医院旧診療所正面口の植栽を行いました。敷地内にあるインターロッキングブロックを活用し、土が流れないよう工夫しました。シンボルツリーとなる樹木に「イチイ」を使用し、彩りを鮮やかにする「オタフクナンテン」を添え、宿根草と一年草をバランス良く配置しました。また、入り口側は出口側より華やかすることで、人目を引くようにしています。出入り口の植栽のほか、正面の梅の木の剪定の仕方についても教えていただきました。後日、様子を見に立ち寄ったところ「寂しい感じだった出入り口が華やかになって良かった。今まであまり関心がなかったが、今では、毎日様子を見に来るのが楽しみ。もっと花と緑で訪れた方のおもてなしができるといい。」との声が聞かれました。
皆様も近くにお越しの際は是非ご覧になってください。

第2回ワークショップを
平成28年2月に予定しています。
詳細が決まりましたら回覧でお知らせ致します。
是非ご参加下さい。

（1）花壇づくりのポイント

1 フォーマルな正面をつくる

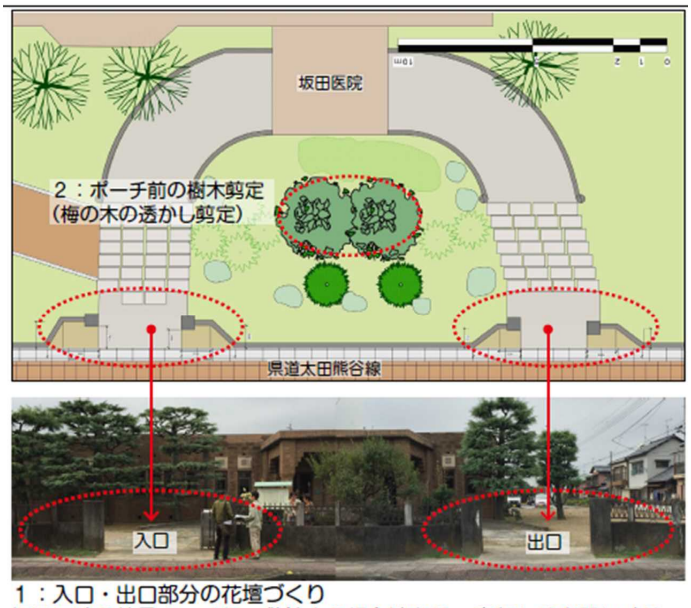
○出口・入口それぞれの左右にシンメトリーな花壇をつくる。
○出口と入口で変化をつける。

2 コンクリートの立ち上がりをやわらげるように植栽する

○立ち上がりのある樹木をポイントに。
○少し縁石などを積み、嵩上げして立体感を出す。

3 緑や花の時期に幅をもたせる

○一年草と宿根草を混ぜ、先に植えた花に続いて咲くように。
○グランドカバーで縁石際をやわらげる。



1：入口・出口部分の花壇づくり
坂田医院の前景をつくり、敷地内の緑と連なる、奥行ある空間にする。









ご協力頂いた皆様ありがとうございました。

【お問い合わせはこちらまで】
熊谷市 都市整備部 都市計画課　〒360-0195　埼玉県熊谷市中曽根654番地1(大里庁舎)
TEL:0493-39-4813 E-mail:toshikeikaku@city.kumagaya.lg.jp